

自然と文化科 活動記録

日時	2024年02月02日(金) 10:00~12:00	担当者
場所	福島区民センター・ホール : 午前 共通講座 : 午後 委員会別活動	文: 谷坂修二 写真: 山上恵子
備考	参加者数 1班18名 2班18名 3班18名 4班19名 合計73名	

午前 共通講座

1. テーマ:「地球温暖化問題と自然エネルギー活用の取り組み」
2. 講演者: 和歌山大学客員教授、自然エネルギー市民の会代表、元・日本環境学会会長 和田 武 先生
3. 講演要旨 :前半

- 1 待ったなしの気候危機。気温上昇を抑制するための温室効果ガス排出量の削減
- 2 自然エネルギー(再生可能エネルギー)普及動向と今後の見とくし
- 3 自然エネルギーの普及が遅れる日本の課題
エネルギー政策で 原子力重視と自然エネルギー軽視
- 4 日本の経済発展と自然エネルギー100%社会の可能性

:後半は自然エネルギーを再生可能エネルギー(再エネ)と書いていました。

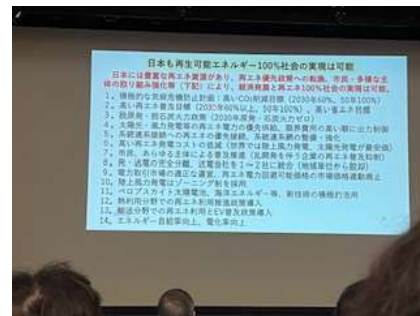
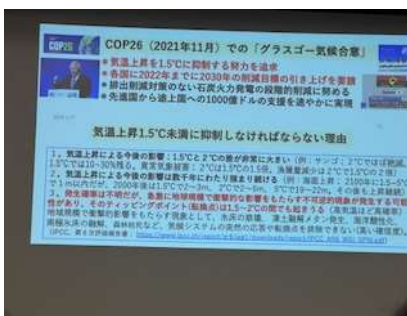
市民が出来る再エネ普及への取り組み

- 1 日本の再エネ発電導入のポテンシャル
- 2 市民が出来る再エネ普及の取り組み
- 3 住宅用太陽光発電の経済性 余剰電力の買取の仕組み、蓄電の活用
- 4 自治体による太陽光発電導入制度の導入例
- 5 地域電力会社設立で電力の地域消費と自律的発展
- 6 再エネ宣言に 340 団体が参加と再エネ普及を目指す自主的な取り組み事例
- 7 エネルギーの生産者、供給者消費者として市民生協中小企業等、地域主体による原発ゼロと再エネ 100%運動を結合し、温暖化気候危機を防止しうる持続可能で平和な社会を実現しよう。
- 8 地球のことを考え、地域で行動しよう！
未来のことを考え、いま行動しよう！

4. 所感: 温暖化対策の取り組みについて他国と日本の取り組み方がわかった。

政策の対応、企業の対応、地域の対応、市民の対応の考え方などを教えていただいた気がした。パワーポイントの文字が多すぎてほとんど読むことが出来ませんでした、先生の元気なお話で地域主導による自然エネルギー活用の、お話を楽しく聞きました。

5. 写真:



6. 午後: 委員会別活動について

企画: 中の島ぐるっと橋巡り
調査: 研究発表会リハーサル

観察: 若手科員と意見交換会
社会貢献: ツバキのストラップの製作

以上